

# 研究レポート

「インド太平洋」研究会 FY2021-8 号 2022 年 3 月 31 日

「研究レポート」は、日本国際問題研究所に設置された研究会参加者により執筆され、研究会での発表内容や時事問題等について、タイムリーに発信するものです。「研究レポート」は、執筆者の見解を表明したものです。なお、各研究会は、「研究レポート」とは別途、研究テーマ全般についてとりまとめた「研究報告書」を公表する予定です。

## 中国の「グローバル開発」構想（GDI）

北野尚宏 早稲田大学理工学術院教授

### はじめに

2021 年 9 月 21 日、中国の習近平国家主席は第 76 回国連総会の一般討論演説で「グローバル開発」構想(Global Development Initiative: GDI)<sup>i</sup>を提起した<sup>ii</sup>。GDI は「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ(2030 アジェンダ)の実施を加速し、より力強く、より環境に配慮した、より健全なグローバル開発を実現する」構想とされるが、「一帯一路」構想(Belt and Road Initiative: BRI)との関係等明らかでない点が多い。本稿では、中国の持続可能な開発目標(SDGs)達成への取り組みを述べたのちに、提唱以来の経緯をたどりながら、GDI とはどのような構想なのかについて概説したい(表 1 参照)。

### 中国の SDGs 達成への取り組み

中国は、2016 年 3 月に全国人民代表会議が採択した「第 13 次 5 年計画(2016~20 年)」で、革新的、協調的、グリーンで、開放的、分かち合える、の五つを新しい開発理念として掲げるとともに、2030 アジェンダとの連動を盛り込んだ。同年 7 月の持続可能な開発に関するハイレベル政治フォーラムでは、初の SDGs に関する自発的国家レビューに参加し、中国の 2030 アジェンダ実施に関する発表を行った。同年 9 月には「中国 2030 アジェンダ実施国別方案」、2017 年、2019 年、2021 年には「2030 アジェンダ実施進捗報告」を公表し、2021 年には中国として第 2 回となる SDGs に関する自発的国家レビューを発表している。

国際協力の分野においても、2015 年 9 月の国連持続可能な開発サミット等で習近平国家主席が、南南協力援助基金、国際開発シンクタンクである中国国際発展知識センター、国連平和発展信託基金、北京大学南南協力・発展学院の設立を表明しそれぞれ実施に至っている。2016 年 9 月の G20 杭州サミットでは、中国の主導で、政策枠組みとして「2030 アジェン

ダに関する G20 行動計画」が策定された。2021 年 9 月には、中国科学院が、SDGs 関連データを観測し、国連に協調する持続可能な開発ビッグデータ国際研究センターを設立し、その前身の組織以来 3 回目となる「SDGs を支える地球ビッグデータ報告書」を公表した。11 月には SDGs ビッグデータに特化した観測衛星を打ち上げている。

このように、中国は自国の開発計画と 2030 アジェンダを結び付け、SDGs を自国の開発目標達成に活用し、達成度を国際社会でアピールすると共に、途上国の SDGs 達成支援等を通じて国際開発分野における存在感を高めてきていると言える。

## GDI の経緯

2021 年に提起された中国による GDI は、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大による経済減速と SDGs 進捗の停滞・後退に対応するために、中国が全世界に開かれた国際協力のプラットフォームを創設し、世界各国や国連等に共同参加を呼び掛けて SDGs を推進していく構想とされる。国連総会後の中国のアクションは早かった。10 月 21 日の第 1 回中国・太平洋島嶼国外相会議、11 月 22 日の中国・ASEAN 対話関係構築 30 周年記念サミット<sup>iii</sup>、11 月 29～30 日の中国アフリカ協力フォーラム第 8 回閣僚級会議、12 月 4 日の中国・中南米カリブ諸国共同体(CELAC)フォーラム第 3 回閣僚級会議、2022 年 1 月 25 日の中国・中央アジア 5 ヶ国国交樹立 30 周年オンラインサミット、などの成果文書や共同声明に GDI が盛り込まれた。

習近平国家主席は 2021 年 10 月 15 日第 2 回国連・持続可能な交通のための会議、10 月 30～31 日の G20 ローマ・サミット、11 月 12 日のアジア太平洋経済協力会議(APEC)第 28 回非公式首脳会議等でのスピーチでも GDI を提起している。10 月 18 日のシャルル・ミシェル欧州理事会議長との電話会議でも、EU 及び加盟国に対し GDI への積極的参加を呼び掛けている。外交部は、GDI の推進を 2022 年の外交政策の上位目標に置いている。北京冬季五輪期間中の首脳外交でも「グローバル開発」構想を重要なキーワードとしており、2 月 6 日のイムラン・カーン・パキスタン首相との会談や、サディル・ジャパロフ・キルギス共和国大統領との会見、共同声明等でも GDI に触れている。

国連との関連では、2021 年 10 月 25 日に習近平国家主席はグテーレス国連事務総長と会談しており、12 月 9 日には外交部が中国国連常駐調整官事務所と「グローバル開発」構想の推進と 2030 アジェンダの共同実施に関する座談会を開催した。国際機関側からは UNDP、UNICEF、世界銀行、FAO、WHO、UNESCO、UNHCR、IMF、UNIDO、WIPO など、中国側からは関係省庁、学術機関の代表者が出席している。2022 年 1 月 20 日には、国連本部で GDI フレンズグループの第 1 回会合が開催された。100 カ国以上の加盟国と 20 以上の国際機関の代表が参加したと報道されている。グテーレス事務総長とは北京冬季五輪期間中 2 月 5 日にも会談し、GDI について意見交換している。

## GDI の概要

外交部が 2021 年 10 月 22 日に発表した中国国連協力立場文書<sup>iv</sup>によれば、GDI は、開発優先、人間中心、包摂、イノベーション主導型開発、人間と自然との共生、結果志向の行動の 6 つを堅持することを基本理念として掲げている。開発優先に関しては、「開発をすべての問題解決の主軸として捉える」ことに言及している。重点分野としては、貧困削減、食糧安全保障、感染症対策とワクチン、開発資金、気候変動とグリーン開発、産業化、デジタル経済、連結性の 8 つを挙げている。さらに、「GDI は中国が国際社会に提供する重要な公共財であり、協力プラットフォームである」として、「中国は、2030 アジェンダの実施において、南南協力の枠組みの下で、他の開発途上国に対し、可能な限りの支援を提供し続ける。」と述べている。

中国は BRI において、2013 年の提唱以来、各国や国際機関との協力文書の締結や、国連総会決議や国連安全保障理事会決議での言及、「一帯一路」国際協力サミットフォーラムの開催等国際公共財としての認知度を高めることに注力していた。中国の国連平和発展信託基金を使用し、国連社会経済局が「SDGs に向けた「一帯一路」共同建設のための国レベルの政策策定能力強化プロジェクト」を実施するなど、国際機関をつづいて SDGs との連動により BRI の浸透を図っている事例もある。GDI においても BRI と同様の取り組みがなされつつあるようにみえる。

一方で、何故 BRI に加えて GDI が必要とされるのか、BRI とはどのような関係があるのか等については明らかではない。最初の点については、欧米諸国によって「一帯一路」構想に対抗する措置がとられる中で、中国として BRI に並び立つような新たな構想の提唱が必要と判断したという見方もありうるかもしれない。欧州連合(EU)のフォン・デア・ライエン委員長は、2021 年 9 月 15 日の一般教書演説で、BRI を念頭に、EU の新たな連結性促進戦略として「グローバル・ゲートウェイ」を打ち出した。同日には、米国、英国、オーストラリアの首脳が、豪英米三国間安全保障パートナーシップ(AUKUS)に関する共同声明を行った。GDI の発表は、この直後のことである。王毅国務委員兼外交部長は、2021 年 9 月 28 日欧州連合(EU)のボレル外務・安全保障政策上級代表と第 11 回 EU・中国戦略対話をオンラインで行い、中国側の報道によれば、「米国、英国、オーストラリアが軍事的関係を強化し、ブロック対立を激化させている今、中国は GDI を提案」した、と述べている<sup>v</sup>。

二点目については、BRI と GDI の間で今後何らかのすみわけが図られ、お互いを補完する可能性はあるのかもしれない。2022 年 3 月 7 日に開かれた全国人民代表大会の記者会見で、王毅外交部長は、GDI の最新状況についての記者の質問に対し、BRI に続く、習近平主席の新たな構想であると述べている<sup>vi</sup>。GDI は SDGs 達成に向けた実践的協力の推進、すべての国のニーズに応える、国連システム等との協力、民間企業、NGO、メディア等あらゆるパートナーとの協力、という 4 つの面で進展しつつある旨回答している。さらに、3 月 22 日イスラム協力機構外相会議開幕式の挨拶では、「質の高い「一帯一路」共同建設と GDI の共同実施を「双発エンジン」として、．．． 2030 アジェンダの達成に強い推進力を与えていきたい。」と述べている<sup>vii</sup>。BRI、GDI 共に個別国のニーズに応えることが基本であろう。加えて、GDI は新型コロナウイルスワクチンや上述の SDGs 関連衛星観測データ等の国際公共財提供を通じて国連等国際機関に協調することにより力点が置かれるのかもしれない。中国政府の実施体制についても、BRI の方は国家発展改革委員会が特に計画段階で中心的役割を果たしているのに対し、GDI は外交部が主導しているようにみえるが詳細は明らかではない。さらに、現在二位の国連予算分担率が 2019~2021 年の 12.01%から 2022~2024 年には 15.25%に上がること、中国の一人当たり GNI が上昇し、近い将来高所得国入りして途上国を卒業する見込みであることも、GDI 提唱の背景にあるのかもしれない。GDI はいまだ準備段階にあるといっている。今後 GDI がどのように展開していくのか注視していきたい。

\*表 1

SDGs、「一帯一路」構想、「グローバル開発」構想をめぐる中国の動向

年月	出来事
2013年 9、10月	「シルクロード経済ベルト」と「21世紀海上シルクロード」提唱
2015年 3月	「シルクロード経済ベルトと21世紀海上シルクロードの共同建設推進のビジョンと行動」発布
	国連持続可能な開発サミット開催、「2030アジェンダ」採択。南南協力援助基金、国連平和発展基金、中国国際発展知識センター、北京大学南南協力・発展学院等の設立を表明
2016年 3月	全国人民代表会議が「第13次5カ年計画(2016～20年)」採択、2030アジェンダとの連動が盛り込まれる
	4月 「2030アジェンダ実施に関する中国のポジション・ペーパー」公表
	5月 国連平和発展信託基金設立
	7月 国連持続可能な開発に関するハイレベル政治フォーラムにて、SDGsに関する自発的国家レビューに参加
	9月 G20 杭州サミット開催、「2030アジェンダに関するG20行動計画」が策定
	9月 「中国2030アジェンダ実施国別方案」発表
	11月 国連総会決議(A/RES/71/9)で一帯一路構想(BRI)に言及
2017年 3月	国連安全保障理事会決議2344でBRIに言及
	5月 第1回「一帯一路」国際協力サミットフォーラム開催
	8月 「中国2030アジェンダ実施進捗報告(2017)」を公表
2018年 8月	「一帯一路」建設工作5周年座談会開催
2019年 4月	第2回「一帯一路」国際協力サミットフォーラム開催
	9月 「中国2030アジェンダ実施進捗報告(2019)」、「SDGsを支える地球ビッグデータ報告書(2019)」を公表
2020年 9月	「SDGsを支える地球ビッグデータ報告書(2020)」を公表
2021年 3月	全人代が「第14次5カ年計画(2021～21年)」採択、2030アジェンダの積極的実施が盛り込まれる
	7月 「中国2030アジェンダ実施自発的国家レビュー」を発表
	9月 中国科学院が持続可能な開発ビッグデータ国際研究センターを設立
	9月 「中国2030アジェンダ実施進捗報告(2021)」、「SDGsを支える地球ビッグデータ報告書(2021)」を公表
	9月 第76回国連総会の一般討論演説で「グローバル開発」構想(GDI)を提起
	10月 「中国国連協力立場文書」発表、GDIに言及
	11月 SDGsビッグデータに特化した観測衛星打ち上げ
	11月 中国・ASEAN対話関係構築30周年記念サミットの成果文書でGDIに言及
	12月 外交部が中国国連常駐調整官事務所とGDIの推進と2030アジェンダの共同実施に関する座談会を開催
2022年 1月	国連本部でGDIフレンズグループの第1回会合が開催
	2月 北京冬季オリンピック期間中、首脳との会談でGDIに言及

出所：中国政府ウェブサイト等各種資料に基づき筆者作成。

---

<sup>i</sup> 中国のメディアによる GDI の日本語訳は「グローバル発展イニシアティブ」とされることが多いが、本稿では「一帯一路」構想と対応させるために、「グローバル開発」構想を訳語として用いる。中国語の「発展」も組織名以外は「開発」を訳語とする。

<sup>ii</sup> Statement by President Xi Jinping at the General Debate of the 76th Session of the United Nations General Assembly. September 21, 2021. Permanent Mission of the People's Republic of China to the UN. <https://www.fmprc.gov.cn/ce/ceun/eng/hyyfy/t1908616.htm>

<sup>iii</sup> ASEAN は、2019 年 6 月に発表された ASEAN としてのインド太平洋構想「ASEAN Outlook on the Indo-Pacific」で 4 つの重点協力分野の 1 つとして SDGs を挙げている。2021 年の中国・ASEAN サミットの成果文書では、ASEAN 共同体ビジョン 2025 と 2030 アジェンダとの補完性を促進する ASEAN の努力及び中国の GDI に言及がなされている。

<sup>iv</sup> Ministry of Foreign Affairs of China. (2021). Position Paper on China's Cooperation with the United Nations.

[https://www.fmprc.gov.cn/mfa\\_eng/wjdt\\_665385/wjzcs/202110/t20211022\\_9609380.html](https://www.fmprc.gov.cn/mfa_eng/wjdt_665385/wjzcs/202110/t20211022_9609380.html)

<sup>v</sup> Wang Yi: U.S.-Britain-Australia Nuclear Submarine Cooperation Poses Three Hidden Dangers. September 28, 2021. Ministry of Foreign Affairs of China.

[https://www.fmprc.gov.cn/mfa\\_eng/zxxx\\_662805/202109/t20210929\\_9580025.html](https://www.fmprc.gov.cn/mfa_eng/zxxx_662805/202109/t20210929_9580025.html)

<sup>vi</sup> State Councilor and Foreign Minister Wang Yi Meets the Press. March 7, 2022. Ministry of Foreign Affairs of China.

[https://www.fmprc.gov.cn/mfa\\_eng/zxxx\\_662805/202203/t20220308\\_10649559.html](https://www.fmprc.gov.cn/mfa_eng/zxxx_662805/202203/t20220308_10649559.html)

<sup>vii</sup> Remarks by H.E. Wang Yi at the Opening Ceremony of The Session of the Council of Foreign Ministers of the Organization of Islamic Cooperation. March 22, 2022. Ministry of Foreign Affairs of China. [https://www.fmprc.gov.cn/mfa\\_eng/wjb\\_663304/wjbz\\_663308/2461\\_663310/202203/t20220323\\_10654638.html](https://www.fmprc.gov.cn/mfa_eng/wjb_663304/wjbz_663308/2461_663310/202203/t20220323_10654638.html)